



また、秋田県唯一の国宝である「線刻千手観音等鏡像」が中仙地域・豊川の「水神社」に祀られております。11世紀頃作られた青銅の鏡で中央に千手観音菩薩立像が刻まれており、毎年8月17日の水神社例大祭の際に一般公開されます。(中仙市民会館ドンパルにはレプリカが常設展示されております)

### ○ 施設紹介

中核施設となる大仙市中仙地域農業総合管理施設(こめこめプラザ)は、平成8年4月にオープンし、翌9年10月に秋田県12番目の道の駅として登録されました。

平成18年からは、大仙市の第3セクターである物産中仙株式会社が指定管理者として施設の管理運営を行っております。また、平成23年にリニューアル工事が行われ、施設内に野菜直売所、米粉菓子製造室等が整備されました。

施設内では「売店」と「レストラン」、JA秋田おばこ中仙地域女性部直売部会が運営する野菜直売所「フレッシュ野菜どんぱん」が営業しております。

売店では特産品である「杜仲めん」や「杜仲茶」、「いぶりがっこ」等漬物類の人气が高く、特に「杜仲めん」はお土産やご贈答用としての利用が多くなっております。また、中仙地域の名物である「ジャンボウさぎ」を食する文化を広く伝え継承していくために、ジャンボウさぎ肉の加工に取り組み、ハンバーグや餃子を販売しております。

また、10月から3月にかけては自社工場で製造している「きりたんぼ」の販売が好評です。道の駅での販売のほか、首都圏へ向けての出荷やご贈答用としての需要が多くなっております。



(20周年イベントでの「ドンパン踊り」)



(春の斉内川)



(こめこめプラザ「売店」)



(特産品の「杜仲めん」)

レストランは、平成31年4月にリニューアルオープンの予定であり、地産地消に取り組んだメニューの提供を目指しています。

野菜直売所は、現在44名の会員が登録されておりますが、会員の高齢化に伴い出荷数の減少が懸念されているところです。安心安全な新鮮野菜を安定的に提供できるよう、直売所会員とともに取り組んでいるところです。

米粉菓子製造室では、JA秋田おばこ女性部の「加工グループ<sup>まいむ</sup>米夢」がお菓子作りに取り組んでおります。自家栽培のお米を使った和菓子や洋菓子約30種類を製造し施設内で販売しております。

平成29年8月には、合同会社ダイセン創農が農産物処理加工施設を開業し、道の駅からほど近い圃場で露地栽培されたトマトを搾汁加工し、トマトジュース等の製造販売を行っております。

主力商品である「毎日がとまと曜日」はオープンファーム・オープンファクトリー（見える栽培・加工）の取組みの中から作り出されている無添加のトマトジュースです。工場見学も承っておりますのでぜひお越しください。

併設されている農業者マーケットでは、うどん・そばの「味穂」と、オリジナルピザとカレーの「キッチンみどり」が営業しております。どちらも中仙地域在住の方による運営です。



（「毎日がとまと曜日」）

## ○ 道の駅の役割と今後について

以上のとおり、道の駅なかせんはいくつかの企業とグループ、個人が店舗を営業しております。各店舗により構成された「道の駅なかせん連絡協議会」を通してイベントや運営方針を協議し、道の駅はもとより地域の活性化に貢献できるよう努めています。

平成29年10月には道の駅開業20周年を迎え、記念のイベントを開催いたしました。地域の方々と共に祝い、喜びを分かち合うことができ、地域の方たちのご協力に感謝を伝えることができました。

今後も地域観光の窓口として、また地域の方の交流拠点として、居心地がよく愛される施設を目指してまいります。

### 【道の駅なかせん】概要

設置者	大仙市
運営主体	物産中仙株式会社
所在地	大仙市長野字高畑95-1
電話番号	0187-56-4515
路線名	国道105号線
登録年	平成9年
主要設備・サービス概要	売店、野菜直売所、レストラン、喫茶・軽食、農産物処理加工施設、トイレ、休憩コーナー
駐車場	普通車72台（うち障害者用1台） 大型車12台
営業時間	売店、野菜直売所 9:00～18:00 うどん・そば 味穂 9:00～17:00（火曜定休） キッチンみどり 9:00～17:00（金曜定休）
休館日	12月31日、1月1日